

# 奄美大島・喜界島農業の動き

■令和6年9月

## 1 園芸若手女性農業者が畜産について学ぶ

奄美大島・喜界島の若手女性農業者組織komorebi（こもれび）は、「女性の労働環境整備・活躍活性化事業」に取り組み、県内畜産女子等との交流と畜産に関する小学校へへの出前授業を計画しました。今回、その活動の一環として、9月6日に奄美市笠利町にある家畜市場で開催された子牛セリ市を園芸経営の会員が視察し、畜産担当普及員から子牛の見方やセリの概況等を学びました。今後も女性農業者の組織活動を普及が一体になって支援し、次世代女性農業者のリーダー育成に繋げていきます。



畜産学習会

## 2 次年度に向けたパッションフルーツ栽培講習会開催

今年度のパッションフルーツは、2～3月の日照不足や気温の低下等が影響して収量の減少につながりました。そこで、次年度の収量向上等を目的に、農政普及課が9月12日に瀬戸内町では物産館で、25日に宇検村では結いの館で講習会を行いました。講習会では特に課題である硬い土壌を柔らかくしていくための土壌改良や高いpHの改善、また、経験による灌水から、土壌水分の状況を計測するpF計を活用した灌水への移行等について説明しました。今後、改善状況や生育等を確認していきます。



瀬戸内町での講習会風景



宇検村での講習会風景